国立病院機構 東京医療センター 麻酔科専門研修プログラム 2027

1. 専門医制度の理念と専門医の使命

① 麻酔科専門医制度の理念

麻酔科専門医制度は，周術期の患者の生体管理を中心としながら，救急医療や集中治療における生体管理，種々の疾病および手術を起因とする疼痛・緩和医療などの領域において，患者の命を守り，安全で快適な医療を提供できる麻酔科専門医を育成することで，国民の健康・福祉の増進に貢献する．

② 麻酔科専門医の使命

麻酔科学とは，人間が生存し続けるために必要な呼吸器・循環器等の諸条件を整え，生体の侵襲行為である手術が可能なように管理する生体管理医学である．麻酔科専門医は，国民が安心して手術を受けられるように，手術中の麻酔管理のみならず，術前・術中・術後の患者の全身状態を良好に維持・管理するために細心の注意を払って診療を行う，患者の安全の最後の砦となる全身管理のスペシャリストである．同時に、関連分野である集中治療や緩和医療，ペインクリニック，救急医療の分野でも，生体管理学の知識と患者の全身管理の技能を生かし，国民のニーズに応じた高度医療を安全に提供する役割を担う．

2. 専門研修プログラムの概要と特徴

この専門研修プログラムは、独立行政法人国立病院機構東京医療センター(以下、東京医療センター)を「基幹施設」と位置づけ、研修プログラム病院群として「連携施設」に慶應義塾大学病院、埼玉県立小児医療センター、社会医療法人財団石心会川崎幸病院、国立病院機構静岡医療センター、埼玉医科大学総合医療センター、東京都済生会中央病院、国立成育医療研究センター、立川総合病院、日本赤十字社医療センター、SUBARU 健康保険組合太田記念病院(以上 本プログラム参入決定時期順に列挙)をおくものである。東京医療センター麻酔科として採用した専攻医が、当施設あるいはこれらの病院群での計 4 年間の研修を通じて、学会指針に定められた麻酔科研修カリキュラムの到達目標を達成できるよう研修環境を整備し、周術期管理だけでなく麻酔関連領域における十分な知識と技量、経験をそなえた麻酔科専門医を育成できるよう、最大限の努力を約束するものである。 麻酔科専門研修プログラム全般に共通する研修内容の特徴などは別途資料「麻酔科専攻医研修マニュアル」に記されている。

3. 専門研修プログラムの運営方針

研修開始から概ね 1 年から 2 年は「基幹施設」である東京医療センターで研修する。この間に、手術麻酔に関する一般的知識と手技を修得するとともに、各専攻医は興味をもてる関連分野(心臓血管・小児・周産期・集中治療・ペインクリニック・救急救命等)を模索する。 月曜から金曜までは手術室において朝の症例カンファレンスや抄読会・検討会に臨んだのち、午前/午後ともに手術室において麻酔管理を学ぶ。週に 1 回程度、心臓血管外科合同カンファレンスにも参加する。なお専門研修 2 年目終了まで(標榜医取得までを目安)の東京医療センター勤務においては、自主的な学習促進や休養時間を確保するため、独りでの夜間・土曜・休日の勤務は当たらない。ただ し、専門医/専門研修指導医サポート下での夜間/休日のオンコール当番を経験することで、緊急手術や手術室マネジ

メントを学ぶ機会は確保できるよう配慮する。1 か月に 1 回程度 openICU での夜勤も 1 年目より担当する。 以降の研修実施計画としては、研修中盤から後半では、東京医療センターから適宜「連携施設」に 出向し、研修を積む。出向の時期や一施設当たりの研修期間は、受入れ施設の事情や本人の希望も 考慮してフレキシブルに対応することとするが、6 か月～1 年を目途とする。また 4 年間のうち一定の期間。医師不足地域での研修も行う。 専攻医個々の経験症例数の進捗状況、興味ある関連分野の変遷、家庭の状況、健康状態、などに応じて、東京医療センターおよび出向施設での勤務期間は柔軟に対応するものとし、また、年次の近い専攻医間のバランスにも十分配慮してプログラムを遂行する。

研修実施計画例
年間ローテーション表

	1年目	2年目	３年目	４年目
A	東京医療センター	東京医療センター/成育医療センター	成育医療センター／川崎幸病院	川崎幸病院／東京医療センター
B	東京医療センター	東京医療センター	東京医療センター／成育医療センター	埼玉医大総合医療センター

週間予定表
東京医療センターの例

	月	火	水	木	金	土	日
午前	和痛	APS	手術室	手術室	休み	休み	休み
午後	和痛	APS	手術室	手術室	休み	休み	休み
					ICU		

４．研修施設の指導体制

基幹施設　　国立病院機構 東京医療センター

研修プログラム統括責任者：吉川　保

専門研修指導医：小林佳郎　　（麻酔）
吉川　保　　（麻酔・ペインクリニック）
長田大雅　　（麻酔・集中治療）
櫻井裕教　　（麻酔・集中治療）
森　庸介　　（麻酔・集中治療・心臓麻酔）
安村里絵　　（麻酔・集中治療・心臓麻酔･区域麻酔）
加藤奈々子　　（麻酔・産科麻酔）
吉武美緒　　（麻酔）
茂田宏恵　　（麻酔）

専門医：中川布有加　　（麻酔）
田中浩平　　（麻酔）
肌附里乃　　（麻酔）
伊瀬谷沙織　　（麻酔）

認定病院番号　221号

特徴：東京医療センターは旧国立東京第二病院といわれた昭和43年から臨床研修指定病院に指定され、伝統的に医療従事者の教育研修に熱心な施設である。近年は地域との結びつきの強い急性期病院として、救命救急センター・地域がん診療連携拠点病院・東京都災害医療拠点病院・地域医療支援病院などの指定を受けるとともに、高度先進医療にも取り組んでいる。そして当センターの理念『患者の皆様とともに健康を考える医療の実践』を実行すべく、技術とシステムの改修に加え、診療・教育・研究を通して医療の質の向上を目指している病院である。

麻酔科としても、2016年から麻酔科術前外来を開設、2020年からAPSチーム、2021年から和痛チーム、2026年から集中治療チームが発足し、術前から術後まで周術期診療の核となるべく様々な取り組みを行っている。専門医以上のスタッフが多く、若手から中堅そしてベテランまでがバランス良く存在していることも特徴のひとつである。どの年代層も常に新しい事を取り入れ進化する努力を怠らないようにしている。臨床のみでなく、学会発表、論文投稿指導にも力をいれている。また医局の枠にとらわれず、約20年にわたって独自に麻酔科専門医を養成している歴史があり、国内外で活躍する当院麻酔科研修を終えた数多くの麻酔科医と交流する機会があるのも魅力の一つである。

連携施設

慶應義塾大学病院

〒160 - 8582　東京都新宿区信濃町35　　TEL：03 – 3353 – 1211

URL：http://www.hosp.keio.ac.jp/

研修プログラム統括責任者：山田　高成

専門研修指導医：

山田　高成	（麻酔、集中治療）	星野　麗子	（麻酔、ペインクリニック）
小杉　志都子	（麻酔、ペインクリニック）	若宮　里恵	（麻酔、産科麻酔）
三笠　裕美	（麻酔、小児麻酔）	鈴木　悠太	（麻酔、集中治療）
福田　陽子	（緩和医療）	戸谷　遼	（麻酔、心臓麻酔）
御園生　与志	（麻酔）	生駒　祐介	（麻酔、集中治療）
大橋　夕樹	（麻酔、産科麻酔）	藤田　治人	（麻酔、集中治療）
壽原　朋宏	（麻酔、集中治療）	岡本　泰治	（麻酔、集中治療）
増田　祐也	（麻酔、区域麻酔）	小山　祐果	（麻酔、小児麻酔）
若泉　謙太	（麻酔、ペインクリニック）	関谷　由希	（麻酔）
伊原　奈帆	（麻酔、緩和医療）	加藤　英恵	（麻酔、小児麻酔）
阪本　浩平	（麻酔）	松沢　真奈	（麻酔、産科麻酔）
寅丸　智子	（麻酔、小児麻酔）	森川　紗希	（麻酔）
細井　卓司	（麻酔）		

専門医：

岡本　善基　（麻酔、ペインクリニック）

麻酔科認定病院番号　：　3

特徴：経皮的心臓弁膜症手術を含む様々な先進的手術、臓器移植あるいは種々の合併症を有する患者の手術、多科合同手術など、**麻酔管理の質が問われる症例が数多くあり、入念な麻酔計画を立て専門研修指導医のサポートの下で周術期管理を経験出来ます。**抄読会や勉強会、シミュレーション教育も積極的に行い、**様々な局面に的確に対応できる知識や技術の習得に日々努めています。**必要経験症例の手術件数も非常に多く、年次や経験に応じて目標を設定して研修をサポートしています。

2025年度麻酔科管理症例：9461例

経験必須症例	年間施設症例数
小児（6歳未満）の麻酔	428症例
帝王切開術の麻酔	304症例
心臓血管外科の麻酔　　Ⅰ群 （腹部大動脈手術を含む）Ⅱ群	218症例 466症例
胸部外科手術の麻酔	619症例
脳神経外科手術の麻酔	282症例

連携施設

独立行政法人国立病院機構　静岡医療センター

研修実施責任者：小澤　章子

専門研修指導医：小澤　章子（麻酔,集中治療）

今津　康弘（麻酔,集中治療）

専門医：波里　純子（麻酔,集中治療）

認定施設番号：第866号

施設の特徴：当院は「循環器」,「がん医療」,「救急」及び「総合医療」を柱として地域の医療ニーズに応えている地域医療支援病院である。「地域循環器病センター」として静岡県東部の「循環器病」に関する中核病院に位置付けられており、心臓血管外科の症例も豊富で、虚血性心疾患,血管疾患,循環器疾患の診療治療を経験できる。救急医療体制も充実しており、心臓血管外科は静岡県東部全域より救急を受け入れている。

2025年度麻酔科管理症例数　1906症例

連携施設

埼玉医科大学総合医療センター

研修実施責任者：鈴木 俊成

専門研修指導医：小山 薫 （麻酔，集中治療）

照井 克生 （麻酔，産科麻酔）

小幡 英章 （麻酔，ペインクリニック）

鈴木 俊成 （麻酔，区域麻酔）

田村 和美 （麻酔，産科麻酔）

佐々木 麻美子 （麻酔，小児麻酔）

山家 陽児 （麻酔，ペインクリニック）

加藤 崇央 （麻酔，集中治療）

田澤 和雅 （麻酔）

加藤 梓 （麻酔，産科麻酔）

北岡 良樹 （麻酔，心臓麻酔）

佐々木 華子 （麻酔）

金子 恒樹 （麻酔，産科麻酔）

吉田 由惟 （麻酔，産科麻酔）

伊野田 絢子（麻酔）

金子 友美（麻酔）

黒川 右基 （麻酔、集中治療）

坂本 尚子 （麻酔、集中治療）

岡田 啓 （麻酔、集中治療）

岩山 香坂 （麻酔、産科麻酔）

原口 崇 （麻酔、産科麻酔）

専門医：黒木 将貴 （麻酔、心臓麻酔）

大久保 訓秀 （麻酔、集中治療）

野口 翔平 （麻酔、産科麻酔）

松浦 千穂 （麻酔、産科麻酔）

篠崎 奈可 （麻酔）

永井 隆文 （麻酔）

高山 瑠衣 （麻酔）

木村 亜紀子（麻酔）

横谷 円（麻酔）

松本 木綿子（麻酔）

小島 拓也 （麻酔）

吉田 賢一 （麻酔）

境田 文威 （麻酔）

日本麻酔科学会麻酔科認定病院番号：390
特徴：県内唯一の総合周産期母子医療センターがあり、高度救急救命センターにはドクターヘリが設置されている.
急性期医療に特化した麻酔管理のみならず，独立診療体制の産科麻酔，ペイン，集中治療のローテーションが可能で，手術室麻酔のみならずオールラウンドな麻酔科医を目指すことができる.

連携施設

埼玉県立小児医療センター

研修実施責任者：蔵谷　紀文

専門研修指導医：蔵谷　紀文　（麻酔・小児麻酔）
濱屋　和泉　（麻酔・小児心臓麻酔）
古賀　洋安　（麻酔・小児麻酔）
伊佐田　哲朗　（麻酔・小児麻酔）
小嶋　大樹　（麻酔・小児麻酔）
大橋　智　（麻酔・小児麻酔）
駒崎　真矢　（麻酔・小児麻酔）
高田　美沙　（麻酔・小児麻酔）
坂口　雄一　（麻酔・小児麻酔）
藤本　由貴　（麻酔・小児麻酔）
鴻池　利枝　（麻酔・小児麻酔）

専門医：影山　翔一　（麻酔・小児麻酔）

認定病院番号　399

特徴：研修者の到達目標に応じて、小児麻酔・周術期管理の研修が可能。小児鏡視下手術や新生児手術、心血管手術のハイボリュームセンターです。小児がん拠点病院であり、総合周産期母子医療センター、小児救命救急センター、移植センター（肝移植）が併設されています。小児集中治療の研修も可能です(PICU14, HCU20, NICU30, GCU48)。さいたま新都心駅と北与野駅からペデストリアンデッキで直接アクセス可能です。

麻酔科管理症例　3908例（2025年度）

連携施設

東京都済生会中央病院

研修実施責任者：佐藤　暢一

専門研修指導医：佐藤　暢一　（麻酔全般、集中治療）
齋藤　慎二郎（麻酔全般）
奥　和典　（麻酔全般、産科麻酔）
樋口　慧　（麻酔全般、神経ブロック）
宮山　直樹　（麻酔全般）
一柳　弘希　（麻酔全般、心臓麻酔、小児麻酔)
鈴木　陽　（麻酔全般）
齋藤　陽菜　（麻酔全般、神経ブロック）
馬場　寛子　（麻酔全般）
黒瀬　瞳　（麻酔全般、心臓麻酔、小児麻酔)
静谷　泉　（麻酔全般、心臓麻酔、小児麻酔)
佐川　智紀　（麻酔全般、心臓麻酔）

認定病院番号：978

特徴：済生会中央病院は大正 4 年開院の済生会芝病院を前身とし,東京都港区中央部に位置し, 35 の診療科を備える総合病院である.麻酔科専門研修においては一般外科,心臓血管外科,呼吸器外科,脳神経外科,整形外科,血管外科,産婦人科,泌尿器科,TAVI (経カテーテル大動脈弁植え込み術)など幅広い症例の麻酔管理を研修することが可能である.また当院は東京都指定の三次救急医療機関かつ災害拠点病院であり,多数の救急搬送患者を受け入れている.そのため多くの緊急手術や重症患者の麻酔管理を経験することができる.手術麻酔以外では手術前外来を開設しており,集中治療,和痛分娩,緩和医療などの業務も担っている.希望に応じてこれらの麻酔科関連領域の研修も可能である.当院の麻酔科専門研修プログラムにおいては,1-2 年次は当院で全般的な麻酔研修を指導医とともに行う.当科は特定の大学病院医局の関連施設ではないが,研修関連施設には小児麻酔,小児心臓麻酔,心臓麻酔の症例数が多い病院が含まれており,3 - 4 年次は個人の希望に応じてそれらの施設で特定の分野の専門研修を行う事が可能である.

連携施設

【太田記念病院】　認定病院番号 537

研修プログラム責任者：　矢島　聡

専門研修指導医：　矢島　聡　　（麻酔，集中治療）
松本　晶平　（麻酔，集中治療）
小澤　拓郎　（麻酔，集中治療）
大島　正行　(麻酔，集中治療，心臓麻酔，ペイン)
高橋　佳奈子（麻酔，心臓麻酔，集中治療）
山田　紅緒　（麻酔，集中治療）
前原　智　　（麻酔，集中治療）
中田　翔　　（麻酔、集中治療）

（特徴）

三県にまたがる広範囲の基幹病院として、心臓血管外科や脳神経外科、小児外科を含む多彩な手術麻酔を経験でき、若いうちから高難易度の症例に携わることができます。また救命救急センターを併設しているため、重症外傷や急性期管理のスキルを磨きやすく、周術期管理全般に強い麻酔科医を目指せる環境です。指導医との距離が近く、手技の機会が豊富に与えられるため、臨床現場での即戦力となる技術（気道管理や神経ブロックなど）を効率的に習得できます。

連携施設

立川綜合病院

研修プログラム統括責任者：桑原　淳

専門研修指導医：桑原　淳（麻酔, 心臓血管麻酔, 神経ブロック）

佐藤　敬太（麻酔, 心臓血管麻酔, 集中治療）

小澤　菜月（麻酔，心臓血管麻酔，神経ブロック）

岩出　宗代（麻酔，神経ブロック，ペインクリニック）

笹川　香織（麻酔，心臓血管麻酔，神経ブロック）

認定病院番号：1469

特徴：新潟県内で中心的な役割を果たす手術施設．特に県内随一の心臓血管手術症例数を誇り，高度な心臓血管麻酔の修練が可能．また，無痛分娩にも積極的に関わっており周産期の麻酔研修も行っている．

連携施設

日本赤十字社医療センター

研修プログラム統括責任者：諏訪　潤子

専門研修指導医：　諏訪　潤子（麻酔）
細川　麻衣子（麻酔、集中治療）
浅野　哲　（麻酔、産科麻酔）
大塚　尚実（集中治療、救急、麻酔）
林　南穂子（麻酔、集中治療）
松岡　未紗（麻酔）

認定病院番号：76

特徴：がん診療、小児・周産期医療、救命救急及び災害救護を担う、地域の中核施設。十分な麻酔症例と集中治療症例を研鑽することができます。 分娩時の疼痛緩和のための硬膜外麻酔も数多く行っています。

連携施設

国立成育医療研究センター

研修実施責任者：糟谷　周吾

専門研修指導医：

糟谷　周吾（麻酔）
大原　玲子（麻酔、周産期）
馬場　千晶（麻酔）
佐藤　正規（麻酔、周産期）
蜷川　純（麻酔、心臓血管）
山下　陽子（麻酔、周産期）
行正　翔（麻酔）
古田　真知子（麻酔）
浦中　誠（麻酔、心臓血管）
橋谷　舞（麻酔、心臓血管）
伊集院　亜梨紗（麻酔、周産期）
兒玉　洋介（麻酔）
久米　澄子（麻酔、周産期）
岩田　裕貴（麻酔）
岩田　愛理（麻酔、周産期）

認定病院番号：87

特徴：

・国内最大の小児・周産期・産科・母性医療の専門施設で、小児（手術・検査等）・周産期の麻酔管理（帝王切開・無痛分娩・EXIT 等）について、指導者の下で経験・習得できる。
・国内最大の小児集中治療施設で、救急・重症疾患の集中治療管理を経験・習得できる。
・小児の移植（肝臓・腎臓・小腸・心臓）の周術期管理を経験できる。
・先天性心疾患を有する麻酔管理（手術・カテーテル検査）を経験できる。
・小児がんセンター、緩和ケア科があり、小児緩和医療を経験できる。
・臨床研究センターによる臨床研究サポート体制がある。

麻酔科管理症例　約 6600 症例、帝王切開約 800 症例、無痛分娩約 1200 例

連携施設

東京科学大学病院

研修プログラム統括責任者：内田篤治郎

専門研修指導医：内田篤治郎(麻酔)

遠山悟史(麻酔、小児麻酔、産科麻酔)

仙頭佳起(麻酔、集中治療)

奥山めぐみ(麻酔、小児麻酔、心臓血管麻酔)

塚田さよみ(麻酔)

岩野雄一(麻酔、心臓血管麻酔)

増田孝広(麻酔、集中治療)

山本雄大(麻酔、心臓血管麻酔、小児麻酔)

高橋京助(麻酔、心臓血管麻酔)

石橋克彦(麻酔、小児麻酔)

竹本彩(麻酔、小児麻酔、産科麻酔)

山地芳弘(麻酔、心臓血管麻酔、区域麻酔、救急)

金森眸(麻酔)

阿久根翼(麻酔)

今村祥子(麻酔)

水野えり(麻酔)

林颯吾(麻酔、心臓血管麻酔)

野口麻理緒(麻酔、小児麻酔)

芳賀誠人(麻酔)

伊藤瑛里(麻酔)

遠藤一毅(麻酔)

韓琇淵(麻酔、産科麻酔)

塩田修玄(集中治療)

特徴:様々な分野に精通する指導医たちの下、大学病院ならではの幅広い症例が経験できる。ICU のローテーションも可能。

連携施設

社会医療法人財団石心会　川崎幸病院

専門研修指導医：髙山　渉　　（麻酔・心臓血管麻酔）

迫田　厚志　（麻酔・心臓血管麻酔）

原田　昇幸　（麻酔・心臓血管麻酔）

関　周太郎　（麻酔・心臓血管麻酔）

砂永　　仁子　（麻酔）

中村　繭子　（麻酔）

入江　駿　　（麻酔）

専門医：　　藤田　夏樹　（麻酔・心臓血管麻酔）

小路　麻里　（麻酔・心臓血管麻酔）

麻酔科認定病院番号：1480

特徴：全国でも TOP の件数の胸部・胸腹部大動脈手術の実績があり，麻酔科専門医をめざす方にとって，多くの心臓血管外科手術の麻酔を経験できることが最大の特徴です。特に胸腹部大動脈瘤手術を当院ほど数多く経験できる施設はあまり存在しないと考えます。更に近年では従来の胸腹部大動脈手術に加え，僧帽弁・大動脈弁の置換のみならず形成術，オフポンプ CABG や TAVI，Watchman®，M-TEER などの心臓手術（血管内含む）も実施され，心臓血管外科領域の症例数は約 1400 です。また緊急手術も多いため，管理にも多様なバリエーションがあり，専門医教育施設として今後も発展できると考えています。さらに，近年では大動脈外科や麻酔科に，海外からの研修のために医師らが多数訪れており，その麻酔科医の総数は 20 人を超えています。当院は，麻酔科専門医を目指す方にとって，豊富な症例数と国際的知見も含めた幅広い経験を得ることができる環境です。